

# 第5回全国高等学校情報教育研究会 全国大会(千葉大会)の報告

千葉県立柏の葉高等学校教諭  
滑川 敬章

## 1. はじめに

全国高等学校情報教育研究会<sup>1)</sup>(以下、「全高情研」と記す)が主催する全国大会が、今年度は千葉県で開催された。平成21年の第2回茨城大会以来、関東で行われるのは3年ぶりになる。当日は、約300名の先生方、大学・企業関係者の方が参加され、盛況のうちに大会を終えることができた。

今大会は千葉県での開催であったので、全国大会を運営する側として関わることができた。全高情研の事務局の先生方と連携を取りながら進める中で、初めて気づいたことも多くあった。全国大会の概要とともに、大会を通じて考えたこと、感じたことなどをお伝えしたい。

## 2. 大会概要

【テーマ】「情報教育の未来をデザインする」

【期日】平成24年8月10日～8月11日

【会場】東京情報大学

【主催】全国高等学校情報教育研究会

【共催】千葉県高等学校教育研究会情報教育部会

【大会Webサイト】<http://www.zenkojoken.jp/05chiba/>

【プログラム】

○8月10日(金)

12:15～13:00 総会

関東都県高等学校情報教育研究会総会

全国高等学校情報教育研究会総会

13:00～13:20 開会行事

開会挨拶、来賓祝辞、諸連絡等

13:20～15:00 講演

「情報教育の未来をデザインする

－新学習指導要領の先にあるもの－」

聖心女子大学 永野和男 教授

15:00～17:00 ポスターセッション

ワークショップ

専門学科「情報科」生徒作品展示

17:30～19:30 教育懇談会

○8月11日(土)

9:00～11:40 分科会

第1分科会 情報の科学

第2分科会 共通教科「情報」の研究

第3分科会 社会と情報

第4分科会 専門教科「情報」

第5分科会 問題解決の取組

関東若手教員特別分科会

11:40～12:00 ティーブレイク

12:00～12:50 全体会

講演・講演

文部科学省 永井克昇 視学官

12:50～13:00 閉会行事

閉会挨拶、次年度開催県挨拶等

※ウェザーニューズ見学(大会終了後 希望者)

13:30～ バス移動

14:30～ 株式会社ウェザーニューズ見学

## 3. 大会の様子

(1) 総会

全国大会の開会に先立って、関東都県高等学校情報教育研究会(以下、「関東情研」と記す)と全高情研の総会が行われた。関東情研は、平成17年に行われた関東地区情報教育研究会合同研究大会第1回東京大会を機に組織された。その後、平成21年に茨



図1 総会の様子

城県つくば市の筑波学院大学での全国大会・関東都県大会を同時開催した際に、今後はその組織を全高情研に一本化する方向で検討していたが、今回の総会をもって正式に全高情研に引き継がれることになった。関東情研がなくなってしまうのは、立ち上げの頃から一緒に活動していた私としては非常に残念であるが、これからは全高情研を中心として、全国の先生方との情報交換を活発にしていきたい。

## (2) 開会行事

全高情研の下條会長、大会実行委員会の吉田会長(千葉県・情報教育部会会長)から挨拶をいただいた。また、会場を提供していただいた東京情報大学の牛久保学長、千葉県教育委員会の上市主席指導主事からも祝辞をいただいた。

全高情研事務局からは、昨年度に引き続いてメーリングリストの運用について連絡があった(これについては、後ほど詳しく紹介する)。



図2 開会行事の様子

## (3) 講演

聖心女子大学の永野和男教授から、「情報教育の未来をデザインする－新学習指導要領の先にあるもの－」というタイトルでお話いただいた。

1990年代後半から、情報教育の基本的なデザインを考えられてきた永野先生のお話は、改めて我々に教科「情報」で身に付けさせたい力について考えさせてくれた。また、小学校から高等学校までに必要



図3 講演の様子

な情報活用能力の具体的な内容を網羅した「情報活用能力育成モデルカリキュラム」<sup>2)</sup>や、情報活用能力の評価の方法についてもお話いただいた。

最後には、「これから先5年くらいの授業実践が、この次の10年間のカリキュラムを決める。新しい学力観を実現するための授業をデザインしてほしい。」とまとめられた。

## (4) ポスターセッション／ワークショップ／専門学科「情報科」生徒作品展示／企業展示

### ○ ポスターセッション

前半・後半の2グループに時間をわけ、あわせて23件の発表があった。関東近県からの発表が多かったが、大阪、名古屋といった遠方の先生方からの発表もあった。それぞれの先生方の発表資料等は、全高情研のWebサイトにアップロードされているので、ぜひご覧いただきたい。

実は、ポスターセッションの発表申込が分科会発表に比べて少なく、大会運営側としては直前まで非常に心配していた。次回大会では、さらに多くの発表があることを期待したい。

### ○ ワークショップ

大阪府立東百舌鳥高等学校の稲川先生により、USB接続の計測制御用教材<sup>3)</sup>を使用した「プログラムによる計測・制御」の授業についてのワークショップが行われた。約20名の先生方が参加され、パソコンとUSB接続したセンサなどへの入出力プログラムの作成を、フローチャート形式で簡単にプログラミングできるソフトを使いながら行っていた。

### ○ 専門学科「情報科」生徒作品展示

情報に関する専門学科5校から、生徒実習作品等の展示を行った。専門学科「情報科」<sup>4)</sup>については、学校数も少なく、日頃あまりその様子を目にする機会がないと思われるが、せっかくの機会であるので、地元である本校・柏の葉高校が中心となって、実習等で制作したポスターやプログラム等の作品展示を行った。本校からは生徒も参加し、展示内容についての説明を行った。

### ○ 企業展示

今回の千葉大会では、前回の大阪大会のときに行われていた企業からの協賛・展示をさらに拡充させ、46社からの協賛をいただいた。少しでも授業に役立つ情報を持ち帰ってもらえればと、多くの企業等に声をかけ、ポスターセッションの時間帯を中心に、



図4 ポスターセッションの様子



図5 ワークショップの様子

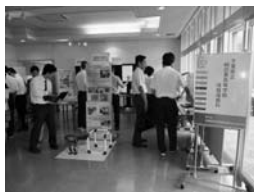


図6 専門学科生徒作品展示の様子

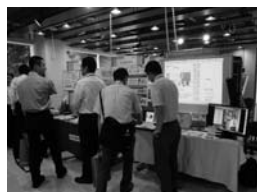


図7 企業展示の様子

教科書会社や情報機器関係の企業 27 社<sup>5)</sup>から展示が行われた。

#### (5) 教育懇談会

大会 1 日目終了後、教育懇談会を行った。約 130 名が参加され、和やかな雰囲気の中にも情報教育に関する熱い意見交換が行われた。このような場での雑談の中から新しい発見やアイデアが生まれることも多い。日中のセッションでは話すことができなかった先生方とも話をすることができ、大変盛り上がった充実した時間となった。

#### (6) 分科会

##### ○ 分科会発表

大会 2 日目は、分科会発表で始まった。30 件の発表申込があったので、内容によって分科会を次の 5 つに分け、それぞれの会場で 6 件ずつ発表を行った。

第 1 分科会 情報の科学

第 2 分科会 共通教科「情報」の研究

第 3 分科会 社会と情報

第 4 分科会 専門教科「情報」

第 5 分科会 問題解決の取組

ポスターセッションと違い、分科会発表ではすべての発表を見ることができないのが本当に残念である。予稿集となる大会冊子を見ながら、会場を移動する先生方が多かった。分科会発表の資料についても、全高情研の Web にアップロードされているので、参照してほしい。

##### ○ 関東若手教員特別分科会

関東情研は解散してしまうが、関東近県での交流の継続も大切である。情報科教諭の新規採用や学校



図8 分科会の様子

の情報科担当者が少ないことも踏まえ、若手教員が都県の枠を越えて日頃の授業実践や自校での課題などを発表・交流する機会を創設し、「関東若手教員特別分科会」として関東各都県の研究会・部会からの推薦者による特別分科会を行った。日頃発表の機会が少ない若手の先生方であるが、それぞれの実践を発表し、発表者間の交流も進んでいた。

#### (7) 全体会

2 日間を締めくくる全体会で、文部科学省初等中等教育局の永井視学官から講評・講演をいただいた。

まず冒頭で、東日本大震災について、被災地で困難な状況の中、教育に尽力されている方々への感謝の言葉と、震災時に「情報」の重要性を改めて感じたことについて触れられた。

その後、昨日の永野先生の講演を振り返りながら、これからのことを考えると、すべての子どもたちに身に付けさせる情報活用能力の面だけでなく、教科「情報」の学問としての側面が大切になってくると話された。大学入試センター試験のことも触れられ、先生方のすばらしい授業実践の積み上げが大切になってくるので頑張してほしいとまとめられた。

#### (8) 閉会行事

閉会行事では、次年度の開催地となる京都の藤岡先生から次回の大会開催への意気込みなどが語られ、2 日間の全国大会が無事に終了した。

## 4. 地元で開催して

今大会は、34 都道府県からの参加があり、地元となる千葉県内からは 72 名の参加(運営役員を含む)があった。これまで千葉県からの全国大会参加者が少なかったことを考えると、県内の先生方が多く参加してくれたことを大変嬉しく思っている。分科会やポスターセッションで発表された方も多く、地元開催のメリットを感じた。今大会への参加を

きっかけに、今後の大会にもぜひ参加してほしいと思っている。実際、昨年度の開催地であった大阪からは、18名の方が参加されている。全国各地で大会が開催され、より多くの先生方が参加されることを期待したい。

## 5. 成果と課題

今大会では、2件の講演、若手教員分科会、専門学科作品展示、会場大学との連携によるサイン計画・映像配信、企業展示の拡充、ウェザーニューズ社の見学など、これまでの大会内容を発展させつつ、新しいことにもチャレンジした。多くの関係者のおかげで、一応の成功を取めることができたと思う。

しかし、大会を運営してみて一番何とかしなければならなかったと感じたことは、全国の先生方に大会案内をスムーズに届けることである。都道府県の教育委員会経由で、各学校に案内が届くように協力をいただいております。情報科の研究会・部会経由でも案内していただいているが、研究会・部会がない県もある。都道府県の研究会・部会との連携を深め、メール等を利用して全国の研究会・部会・先生方と連絡が取れる体制を整えることが急務だと感じた。

また、今後の開催地の問題もある。広く全国の先生方から全高情研が認知されるとともに、情報科の先生方のつながりを築いていくことが重要だと思ふ。

## 6. 全高情研のメーリングリストについて

### (1) japan@zenkojoken.jp の廃止

全国大会の開催案内が、各学校へ届くまでに時間がかかったり、届かなかったりということがあったかもしれない。全高情研から各都道府県の研究会・部会及び情報科担当の先生方に、直接全国大会の案内を届けられる連絡手段・体制を整備するために、現在運用している japan@zenkojoken.jp という ML を平成 24 年 9 月末日で廃止し、次の 3 つの ML を運用することとなった。

### (2) info-users@zenkojoken.jp

全国の情報教育に関わる人が参加できる ML で参加資格・参加条件はない。流れる情報は、各種案内をはじめ、事務局からの連絡や情報提供・情報交換等になる。参加を希望する方は、全高情研の Web サイトのフォーム<sup>6)</sup>から登録が可能である。情報科に関わるすべての先生方が参加してくれることを期

待したい。

### (3) i-e-c25@zenkojoken.jp

平成 25 年度に開催する全国大会の実行委員会の ML で、「i」は information, 「e-c」は executive committee の略である。各年度の実行委員会解散後は削除され、新しい ML が作成される(年度毎に数字が増えていく)。

全国大会の実行委員として実務に携わる方々が参加する ML である。開催地に限らず、実行委員会のメンバーとして大会運営にご協力いただける方は登録が可能なので、事務局(info@zenkojoken.jp)まで連絡をお願いしたい。

### (4) info-managers@zenkojoken.jp

各都道府県の研究会・部会との連絡用の ML で、全高情研からの案内・連絡・調整などを行うために新設された。各都道府県の研究会・部会から、担当の方を 2～3 名、事務局(info@zenkojoken.jp)まで連絡してほしい。(所属の都道府県に研究会・部会が存在しない場合には個別に事務局まで)

今後は info-managers を通じて全国大会の開催案内などを全国各地の研究会・部会にお届けするようになってくると思う。

## 7. おわりに

来年度の全国大会は、平成 25 年 8 月 9 日～10 日に京都大学の百周年時計台記念館で行われる。先日の 10 月 6 日には京都大会のキックオフ会議が行われ、準備が正式にスタートした。今年度の経験を活かして、さらに全国に情報科の先生方の輪を広げていきたい。京都近隣の先生方をはじめ、全国から多くの先生方の発表・参加を期待したい。

---

### 参考 URL

- 1) 「全国高等学校情報教育研究会」  
<http://www.zenkojoken.jp/>
- 2) 情報活用能力育成モデルカリキュラム,  
<http://www.kayoo.info/MC-InfoLiteracy2010/>
- 3) 計測制御プログラマー,  
<http://www.vstone.co.jp/products/mcprogrammer/>
- 4) 全国専門学科「情報科」,  
<http://johoka.kashiwanoha.ed.jp/>
- 5) 協賛・企業展示,  
<http://www.zenkojoken.jp/05chiba/> 協賛・企業展示 /
- 6) メーリングリスト,  
<http://www.zenkojoken.jp/ml/>